

作成年月日	平成 16 年 2 月 9 日
作成部局	西播磨県民局

兵庫県絶滅種「チスジノリ」の確認について

1. 概要

チスジノリは淡水産紅藻でレッドデータブックにおいて、県では絶滅種、わが国では絶滅危惧 類に指定されている。現在では、熊本県菊池川、鹿児島県川内川、福岡県筑後川などで分布が確認されているにすぎない。学術的にも貴重種であり、菊池川と川内川の生育地は国の天然記念物に指定されている。

このチスジノリが 1995 年まで上郡町の二級河川安室川でも生息していたことが知られていたが、その後の調査においては確認されていなかった。

このたび、「安室川自然再生計画検討会」(委員長；道奥康治神戸大学教授)のメンバー(約 14 人)による現地調査(平成 16 年 1 月 31 日)により、9 年ぶりにチスジノリの生育が確認された。

2. チスジノリ

チスジノリは淡水産紅藻であり、大きさは 30～100 cm、太さは主軸基部で 0.8～1.5 mmで、冬から春にかけて成長する。その形や色が血管に似ているため血筋苔と称される。

3. 安室川自然再生計画検討会

学識経験者や専門家、地域住民により、安室川における貴重藻類の調査や生育環境及び生態系の保全・復元を目的とする検討会を 2002 年 12 月に発足させ、安室川自然再生計画を検討中である。

4. 今後の対応方針

チスジノリの生育が確認されたことから、これの保全を図るための安室川自然再生計画を地域の参画と協働のもと、策定していく。

位置図

